

令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

(令和 2年 7月 作成)

1 事務事業の基本事項				整理番号	818000-01-03
事務事業名	文化活動補助事業			担当部課	教育部 中央公民館
				電話番号	2964-2413 内線
総合計画 基本計画	施策の大綱	02	学びあいのまちづくり	実施期間	平成7年 ~ 年
	政策(節)	03	社会教育の充実	その他の計画	
	施策(項)	01	社会教育環境の充実		
予算事業名	公民館文化活動事業			予算事業番号	2149
事務分類	<input type="checkbox"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務のうち任意のもの <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> サービス提供 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 許認可事務 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 内部事務 <input type="checkbox"/> その他				
	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業開始の背景・経緯	「ドラマフェスタ in 入間」は、市民が、演劇・人形劇・語り等によるオリジナリティーあふれる創作活動の成果を発表するとともにワークショップ等を開催し、子どもから大人まで一人一人が輝ける場を創出することを趣旨とし、平成8年度から開催されている。				

2 事務事業の目的・内容

対象	全市民	実施の根拠 (法令・条例等)	社会教育法、入間市公民館設置及び管理条例
目的 (もたらそうとする成果)	「ドラマフェスタ in 入間」を開催することにより、創り手も観客も心豊かで元気になれる表現の祭典として、新しい「入間」の魅力を創造する。		
全体の事業内容	「ドラマフェスタ in 入間」は市民により構成された実行委員会により実施されており、その実行委員会に対し補助金を交付する。		

3 事務事業の実施状況と成果

令和 1年度の 実施内容	市民の演劇、人形劇、語り、パネルシアター等オリジナリティー溢れる創作活動の成果の発表の場として「ドラマフェスタ in 入間」の開催を令和 2年 3月に計画したところ、新型コロナウイルス感染拡大の影響により 5月に延期としたが、収束の傾向が全く見られないことから中止とした。								
区分	活動指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)	
実施 状況	① ドラマフェスタ 参加団体数	目標値又は 前年度値	団体	17	22	32	32	『前年度実績』令和 1年度は新型コロナウイルスの影響により中止	
		実績値	団体	22	32	0			
		達成率又は 前年度比	%	129.41	145.45	0			
	②	目標値又は 前年度値							
		実績値							
		達成率又は 前年度比	%						
	③	目標値又は 前年度値							
		実績値							
		達成率又は 前年度比	%						
	④	目標値又は 前年度値							
		実績値							
		達成率又は 前年度比	%						
区分	成果指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)	
成果	① ドラマフェスタ観 客数	目標値又は 前年度値	人	3,311	3,726	2,900	2,900	『前年度実績』	
		実績値	人	3,726	2,900	0			
		達成率又は 前年度比	%	112.53	77.83	0			
	② 武蔵野音楽大学連 携コンサート対象 観客者数	目標値又は 前年度値	人	200					H28年度までで終了
		実績値	人	0					
		達成率又は 前年度比	%	0					

※無印は実績値の増大によって達成率が向上するもの
 ※印は実績値の減少によって達成率が向上するもの

4 事業費

区 分			平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	
経 費	事業費	当初予算額	1,000 千円	1,000 千円	900 千円	900 千円	
		決算(見込)額 ①	900 千円	900 千円	900 千円		
	人件費	従事 職員数	一般職・労務職	0.6 人	0.6 人	0.65 人	
			嘱託・再任用	0.3 人	0.25 人	0.24 人	
			パート等	0 人	0 人	0 人	
		人件費 ②	7,180 千円	7,070 千円	6,861 千円		
	総事業費 ③=①+②		8,080 千円	7,970 千円	7,761 千円		
	国・県支出金 ④		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他特定財源 ⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
	特定財源 ⑥=④+⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
入間市年間負担額 ③-⑥		8,080 千円	7,970 千円	7,761 千円			
効率性 指 標	指標名	両事業観客数 ⑦	3,726 人	2,900 人	0 人		
	コスト	観客1人あたり ③÷⑦	2,168 円	2,748 円	円		
備 考							

5 事務事業の評価

◆ 1次評価

個別評価	必要性	有効性	効率性
	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 大変有効である <input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> やや向上 <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> やや悪化 <input type="checkbox"/> 悪化
総合的評価	評 価		今後の方向性
	「ドラマフェスタin入間」は実行委員会を組織し、市民が主体となって事業の企画・運営にあたっており、表現の祭典として市民文化の高揚に貢献している。しかしながら、令和元年度においては、直前まで準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。		<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
改善課題	令和 1年度の取り組み課題		改善の評価
	ドラマフェスタに子どもからお年寄りまで多くの市民に来場してもらえるよう、効果的な広報活動に努める。		
	令和 2年度の取り組み課題		<input type="checkbox"/> 改善できた <input checked="" type="checkbox"/> やや改善できた <input type="checkbox"/> 改善できなかった
	ドラマフェスタに子どもからお年寄りまで多くの市民に来場してもらえるよう、効果的な広報活動に努める。		
令和 3年度の取り組み課題		<input type="checkbox"/> 改善できた <input checked="" type="checkbox"/> やや改善できた <input type="checkbox"/> 改善できなかった	
ドラマフェスタに子どもからお年寄りまで多くの市民に来場してもらえるよう、効果的な広報活動に努める。			

◆ 2次評価

総合的評価	今後の方向性	具体的内容
	<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止	市民が主体となる実行委員会において事業を企画・運営しており、市民文化の向上につながっている事業とすることができる。まちづくり・人づくりにつながる事業でもあることから、引き続き、特定の市民に片寄らず、より多くの市民が参加できる事業内容にしていくことが重要である。なお、施設の耐震化に伴う一時閉鎖、地区センター化や新しい生活様式を考慮したあり方の検討が必要である。